会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（サニータウン茅ヶ崎自治会）
2　日時	平成30年8月19日（日）10：00～11：00
3　場所	サニータウン茅ヶ崎　管理事務室
4　出席者	（資源循環課）添田主幹 （環境事業センター）安齋担当主査、門倉副主査 （サニータウン茅ヶ崎自治会）参加人数：19人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●寒川広域リサイクルセンターで処理している資源物はすべて資源化されているのか。 →施設内で資源化不適物を選別後、すべて資源化している。 ●資源化可能なプラスチック製容器包装類が8.8%とあるが、きれいに洗浄すれば資源化できるという意味か。 →洗浄されていないものやそもそもプラスチック製容器包装類と認識されず捨てられているものもある。 ●資源物で海外に輸出されているものもあるのか。 →それぞれがどこに輸出されているか否かは手元に資料はないが、紙類の一部は海外でリサイクルされているものもある。 ●戸別収集で集合住宅にはどのようなメリットがあるのか。 →先行市の事例を見ると、集合住宅は従前どおりの排出方法であり変わらないケースである。これまで、路上に排出されていたごみが無くなることで、町の美観や良好な通行が確保されることで、幅広く市民の方にメリットがあると考えている。 ●有料化した場合、有料袋の種類を増やさないでもらいたい。 →有料化が決定していない現段階では想定の話であるが、先行市では燃えるごみ、燃えないごみから有料化を開始している。市民の方にとって分かりやすく、利便性の良い袋の種類としたい。 ●最終処分場を新たに市内に造ることはできないのか。 →狭小な茅ヶ崎市にこれ以上最終処分場を造ることは困難と考えている。市では循環型社会構築のため、焼却灰の再資源化を進める方針としている。 ●我々が有料化について判断ができない中で、アンケートにおいて有料化の是非を問うているがこの質問は注意してもらいたい。 →貴重なご意見として承ります。 以上